

令和2年度

教育懇談会記録

堺市PTA協議会

- 〈目的〉 堺市PTA協議会と堺市教育委員会が、未来を担う堺の子どもたちを取り巻く課題に対する取組についてともに語り考える。
- 〈テーマ〉
- ・「コロナ禍での教育の在り方について」
 - ・「コロナ禍における差別・いじめへの対応及び心のケアについて」
 - ・「教職員の確保と適正な配置について」
 - ・「学校給食について」

※今年度の教育懇談会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面にて開催しました。

【コロナ禍での教育の在り方について】

＜堺市PTA協議会＞

コロナ禍による緊急事態宣言が出された臨時休業中の学校教育に対する総括をお教えいただきたいです。

＜堺市教育委員会＞

日常生活が大きく変わる事態となり、児童生徒は、友人関係、進路、将来のことなど、様々な悩みや不安、ストレスを抱えていることが懸念されたため、児童生徒及びその保護者と連絡を密にし、臨時休業期間中において定期的に児童生徒の健康状態を確認しました。

特に気になる児童生徒や配慮の必要な児童生徒には、継続して電話連絡や家庭訪問、文書でやり取りをするなど、定期的に児童生徒の生活状況等を確認し、分散登校実施時や学校再開時のスムーズなスタートに向け、家庭、関係機関と連携した準備と心のケアに取り組みました。

家庭学習支援として、家庭学習例の提示、授業動画や、「問題データベースプリントひろば（家庭における

プリント学習支援）」の配信を実施しました。授業動画配信については、オンラインによる視聴環境がない家庭への対応等としてケーブルテレビでの放送や、DVDの郵送等の対応を実施しました。

各学校においては、家庭学習や教科書等を配布するとともに、電話連絡等で、定期的に学習の取組状況の確認を行いました。

学校再開後、学習の遅れを取り戻し、子どもたちの健やかな学びを保障するため、長期休業期間の短縮や学校行事の精選等、様々な工夫を行い、各教科等の標準授業時数を確保し、学習指導要領に示された内容を確実に指導できるよう努めています。その結果、全ての学校において、学習の遅れを取り戻し、指導すべき内容を確実に指導できる見込みです。

＜堺市PTA協議会＞

オンライン授業の導入やオンラインで提供された教材の充実度などは私学の対応に比べてかなり遅れていたように思います。授業時間の確保もですが、各学校による学習進捗のばらつきは解消されているのでしょうか。

＜堺市教育委員会＞

各学校による学習進捗のばらつきをなくし、誰一人取り残すことなく、学習指導要領に示された内容を確実に指導するためにも、全ての学校において、各教科等の年間標準授業時数を確保することといたしました。時間的な余裕を持って丁寧に学習指導を行い、各校における教育活動の充実に努めていきます。

＜堺市PTA協議会＞

不登校生徒への対応策として、オンライン授業を活用することは行っているのでしょうか。インフルエンザの回復期や骨折や怪我等で一時的に通学が困難な生徒にも活用できると思いますが、いかがでしょうか。

＜堺市教育委員会＞

現在、オンライン授業は行っておりませんが、様々

な観点から活用について検討しています。

<堺市PTA協議会>

今後、更に感染が拡大し臨時休校となった場合、どのような授業実施の確保策を検討しているのでしょうか。

<堺市教育委員会>

今年度内において、全市一斉に長期の臨時休業措置をとることとなった場合には、文部科学省が示す特例的な措置に基づき、子どもの負担を考慮しつつ、教育課程を次年度に繰り越すこと等を視野に入れ、指導すべき内容を確実に指導できるよう、取組を進めていきます。

<堺市PTA協議会>

新学習指導要領が、小学校では今年度から実施され、中学校では次年度から実施されますが、コロナ禍のため研修や研究会が十分にできていないと聞きます。教員の働き方改革が叫ばれる中、どのように実施されたのでしょうか。また今後どのように実施していく予定でしょうか。

<堺市教育委員会>

新学習指導要領が平成29年に告示されてから移行期間中、文科省から教科調査官等を招聘した研修等を行うなど、本市教員に対して新学習指導要領の趣旨等の理解を図る研修を行ってきました。(平成30年度・平成31年度実施)。

令和2年度の研修については、「情熱・実践力・人間力」を備えた教員の育成のため研修計画に基づき実施いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止にした研修もありますが、集合研修のほかオンライン研修・ハイブリッド型研修(集合研修と動画配信型研修を組み合わせたもの)するなど研修方法を工夫しています。また、職員室の自席で視聴できる研修動画を一定期間配信するなど教職員の出張にかかる移動時間の短縮を図っています。

新学習指導要領への対応については、小学校は「学習指導要領の確実な実施に向けて」、中学校は「学習評価」に関する研修動画を令和2年度中に配信し、さらなる理解を図る予定です。

【コロナ禍における差別・いじめへの対応及び心のケアについて】

<堺市PTA協議会>

自分の子どもが感染症にかかったときに、差別やい

じめに発展しないか心配な保護者が多いと聞きます。実際に起こった事例があればお聞かせください。また、そのような差別やいじめをなくすために、どのような取組をされているのでしょうか。

<堺市教育委員会>

新型コロナウイルス感染症が原因となったいじめは報告されておりません。新型コロナウイルス感染症について学び、いかなる理由であってもいじめについては許されない行為として指導し、児童生徒が適切な行動をとることができるようにしています。

また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う差別事象については、今後も差別や偏見が生起しないよう、人権啓発冊子「しあわせめざして手をつなごう」や啓発ポスター、チラシの配布、授業に使える教材の作成、配布などを行っています。

<堺市PTA協議会>

教育現場で、実際にコロナに感染した児童生徒や教職員の方への心のケアはどのようなものがあるのでしょうか。

<堺市教育委員会>

児童生徒の個々の状況に応じて、手紙やノートを投函したり、電話やFAX、ときには電子メール等を使用して、きめ細かな心のケアに取り組んでいます。また、必要に応じて、スクールカウンセラー等の専門家と連携した支援を行っています。

教職員のメンタルヘルス不調の早期発見・治療につなげることを目的としてメンタルヘルス相談窓口を設置して、コロナウイルス感染症への不安やストレスを軽減するための相談も受けることができるようにしています。

【教職員の確保と適正な配置について】

<堺市PTA協議会>

令和3年度堺市立学校教員採用選考試験の合格者が116人と発表されましたが、これは4年前の平成29年度合格者数231人の約半数です。昔に比べ教員の仕事量が激増している中で、どのような教員集団をめざした採用試験を行っているか教えていただきたいです。

<堺市教育委員会>

教員の新規採用については、今後見込まれる児童生徒数や退職者数等に基づき長期的な採用計画を立てて進めています。

教員採用選考試験では、求める人物像を、①子どもの主体的な学びを創造する人、②学校のチーム力を向上させる人、③豊かな人権感覚をもち、自覚と責任のもとに行動する人と定め、これらに合致する人材の確保に向けて、試験を行っています。

<堺市PTA協議会>

堺市立の小中学校で講師のなり手が激減しており、募集しても全く見つからないと聞きます。コロナ禍で早期の30人学級が推進される中、現場の教員・講師のさらなる業務負担が非常に危惧されますが、適正な人員配置に対するお考えをお聞かせください。

<堺市教育委員会>

現在、必要な教員数の確保について、市の広報やホームページへの講師募集記事の掲載、講師登録会の複数開催や大学への訪問、近隣自治体との連携などを行い、新たな講師登録者の増加に努めています。また、教職員数の増配置について、国に対して、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の改正や加配数の増員を要望しています。今後も教員の適正な人員配置に努めていきます。

<堺市PTA協議会>

国の施策として小学校でも高学年専科の流れがありますが、堺市では必要な人員は確保できるのでしょうか。専科という形で人員を増やして、少しでも現場の教員の負担を減らしてあげてほしいです。また、子どもたちにとっては教員も講師も同じ先生として見られますが、講師の方のための研修などはどうされているのでしょうか。

<堺市教育委員会>

小学校の高学年専科指導に係る教員数について、国に対して加配数の増員を要望し、必要な教員数を確保しています。今後も、国へ必要な加配数の増員を要望し、引き続き教員数の確保及び適正な人員配置に努めていきます。

また、研修受講対象者には、講師の方も含んでおり、さらに講師の方のみを対象として「教職員基本研修」も実施しています。

【学校給食について】

<堺市PTA協議会>

現市長の公約にもある、中学校全員給食の実施につ

いて、身体が大きく成長する中学生には、栄養バランスの取れた給食が必要と考えます。現時点での進捗状況および目標とする実施時期について教えていただきたいです。

<堺市教育委員会>

令和2年1月「堺市中学校給食検討懇話会」を設置し、同年12月まで8回にわたり、中学校給食の実施に向けてのご意見を聴取させていただきました。

同懇話会での意見も踏まえながら、令和2年3月の教育委員会議において「全員喫食制の中学校給食の実施に向けた基本的な考え方」として、給食センター方式を導入すること、また、小中一貫した食育を推進することなどを決定し、その中学校給食実施の理念となる「堺市中学校給食改革実施方針」を令和2年10月に策定しました。

現在、教育委員会事務局では、中学校配膳室の改修工事や具体的な整備手法について検討を行っており、全員喫食制中学校給食の早期実施に取り組んでいきます。